

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

●保護者等数 35人

●回収数 35枚 (回収率 100 %)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	意見、工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	32	3	0	0	どんぐりでは社会性とコミュニケーションスキルの向上を目的とした活動が主なので、必要なスペースとしては十分であり、集中しやすい広さだと考えています。身体を大きく動かす活動の時はグループ分けをし安全に配慮して行っています。広い場所でダイナミックな遊びをする時は公園や広場などを利用しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	35	0	0	0	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	35	0	0	0	とてもわかりやすく配慮されています。 (保護者より) 今後も継続していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	35	0	0	0	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	35	0	0	0	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	34	1	0	0	定期的に面談があって目標などもわかりやすいです。 (保護者より) 今後も情報を共有しながら支援計画に反映させていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	35	0	0	0	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	35	0	0	0	
保護者への説明等	⑨	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35	0	0	0	
	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	35	0	0	0	現状に合わせての助言などもあり良いです。 (保護者より) 今後も丁寧な説明を心がけて対応させていただきます。
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	33	1	0	1	ペアレントトレーニングは年に1度(全5回)行っています。今年度は感染対策に配慮して実施しました。
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	34	1	0	0	
	⑬	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	35	0	0	0	
	⑭	保護者同士の連携が支援されているか	21	7	2	5	新型コロナウィルスの感染対策を取りながら、クラス単位で親子プログラムやクリスマス会を実施しました。クリスマス会に合わせて保護者親睦会を実施し、活発な情報共有や意見交換を行いました。今後も感染対策をしながら実施方法を検討していきます。

児童発達支援ガイドライン より

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	35	0	0	0	
	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	35	0	0	0	
	⑯	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	30	4	0	1	どんぐりだよりを季節ごとに出しています。業務に関する自己評価の結果は、2018年度より公開しています。
	⑯	個人情報の取扱いに十分注意されているか	34	0	0	1	
非常時等の対応	⑯	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	30	2	0	3	マニュアルは作成し、訓練を実施しています。周知の方法として今後はすぐに目にとまりやすい場所に掲示する等しながら行なっていきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練等が実施されているか	26	1	0	8	訓練の方法、実施について、年度ごとに子どもの特性にあわせて計画し行っています。保護者の方へのフィードバックは感染対策のためお便り帳を通して行っておりましたで、今後周知の仕方を検討していきます。
満足度	⑯	子どもは活動を楽しんでいるか	34	1	0	0	とても楽しみにしています。（保護者より）今後も一人一人が楽しめる活動を考えながら取り組んでいきます。
	⑯	事業所の支援に満足しているか	35	0	0	0	終了時に活動の様子を教えてくれます。（保護者より）

- この「保護者等から事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	○	
	②	職員の配置数は適切であるか	100%	○	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	○	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	○	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのP D C Aサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	○	
	⑥	保護者等向け評価票により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	○	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価票の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	83%	17%	外部評価は実施していませんが、自己点検票を用いて業務改善につなげています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83%	17%	事業所内研修は感染状況を踏まえて検討しています。オンラインを使用しての外部研修は案内を周知しています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	○	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	○	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	○	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	○	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	○	
	⑮	活動プログラムが固定化されないように工夫しているか	100%	○	

	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%	○	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	○	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	○	
	⑲ 日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	○	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	○	
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	
	㉓ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	67%	33%	移行支援は必要な利用者は現在おりませんが、必要時取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	㉔ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	80%	20%	児童発達支援計画書やクリニックの評価結果を用いての情報共有をしています。
	㉕ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%	20%	以前より研修機会は減っていますが、オンライン研修を活用しています。
	㉖ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	
	㉗ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%	0%	
保護者への説明責任等	㉘ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	
	㉙ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	
	㉚ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	
	㉛ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	

非常時等の対応	(32) 子どもや保護者からの相談や申入れ等について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	
	(33) 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	
	(34) 個人情報の取り扱いに十分注意しているか	100%	0%	
	(35) 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	
	(36) 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	
	(37) 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	
	(38) 事前に、服薬や予防接種、てんかん発生等の子どもの状況を確認しているか	100%	0%	
虐待	(39) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	
	(40) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	
虐待	(41) 虐待を防止するため、職員の研修期間を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	